

■発行 日本会議大阪事務局 大阪市中央区久太郎町4丁目渡辺6号 大阪府神社庁内  
TEL 06-6245-5741 FAX 06-6243-1682  
<http://osaka.nipponkaigi.com/> E-mail [nippon@jp.bigplanet.com](mailto:nippon@jp.bigplanet.com)

## ■「尖閣署名」35,832名 (全国第4位)

### 「石垣市長の尖閣上陸許可を求める議員署名」201名 (29 議会) (全国第4位)

[10月31日現在]

昨年10月末から開始した尖閣署名活動は、丁度、1年経過した10月末日で35,812名の数に上りました。日本会議としては100万名、関係団体では200万名で、合わせて300万名の目標、うち大阪は7万名の目標でしたが、達成率は51%でした。

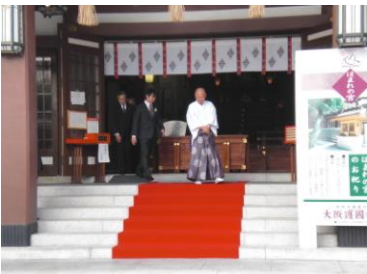
12回に及ぶ街頭署名、北摂支部のように支部独自で街頭署名したところ、社頭で署名用紙を置いて頂いた神社、行事で呼びかけて頂いた方、一人で知人の紹介で1,000名以上集めて頂いた会員の方など、どの署名も大きな意味のあるものでした。この署名用紙は、11月21日午後2時より東京・砂防会館で開催される「尖閣諸島を守る全国国民集会」の舞台に積み上げられ、政府・国会に対して領土領海の主権と国益を守る法整備を強く求めていきます。

また「石垣市長の尖閣上陸許可を求める議員署名」については、大阪では29議会201名まで上りましたが、議会によっては会派全員が署名をして頂くなど呼びかける議員の方の意識が署名数を左右していることを実感致しました。

署名にご協力頂いた皆様には、衷心より感謝申し上げます。

## ■秋季例大祭の10月20日午後、橋下知事、大阪護國神社に正式参拝

～知事本人が参拝するのは実に40数年ぶり～



正式参拝を終えた橋下知事

去る10月20日午前、大阪護國神社秋季例大祭が護國神社で行われ、本会も朝から事務局メンバー5名、日本協議会2名、あさなぎメンバー7名が来賓受付、各遺族会受付、また金美齡氏講演会案内チラシ配布など奉仕させて頂いた。

境内のテントには天候のいいこともあり、約800名のご遺族がお元気で参列、例大祭は粛々と続き、また柳澤宮司の最後のご挨拶の中でも占領中に全国の護国神社の中で、当神社だけが「浪速宮」として神社名を変更しなければ神社の運営がなされてこなかった歴史が語られて、参列者にとっても意義深いお祭りとなった。

この日は、橋下知事が急遽、午後2時に参拝される予定であることも聞かされたので、奉仕したメンバー有志5名で、橋下知事の参拝を拝殿前でお迎えすることとした。大阪府遺族連合会の役員も10数名が並んだ。2時過ぎに橋下知事が僅かな府警・SPと思われるスタッフと一緒に颯爽と駐車場から境内を進み、我々にこやかに手を振り、「例大祭には参列できなくて申し訳ありませんでした」と言いながら、社務所に入った。

報道各社には伝えていないらしく、記者の姿はなかったことを考えると、知事としての最後の仕事として、心静かに護國の英霊に感謝申し上げると決意を持っていて、参拝自体も府民向けのパフォーマンスではないと確信した。

しばらくして知事が社務所を出て、参道を進み、拜殿に入り正式参拝をしている姿が外から見えた。事務局メンバーも知事と話のできる絶好のチャンスと考え、まず知事とのツーショットをお願いし、握手をした後、平成20年9月に開催した「天皇陛下御即位二十年をお祝いする府民の集い」の折は知事として真っ先に出席した折のお礼を述べ、自分はその時に事務局の一人であることを伝えた。すると、知事は「ああ、あの時の…。そうですか」と言われ、確かに覚えているようであった。さらに知事は、国旗国歌条例一つ制定することもかなり時間がかかったこと、朝鮮学校への補助金についても職員室に掲げられている金正日の肖像画が撤去されない限りは、支給しないよう頑張りたいと述べられた。

どんな形にせよ、知事の護國神社参拝は、昭和40年代の左藤義詮・元知事の時代以来、実に40年以上ぶりのことであり、大阪にとってみればやはり画期的なことであった。

## ■日本会議大阪女性の会 10周年記念講演会に500名が参加

～女性の会新会長に村上 知永子氏（大阪府敬神婦人連合会委員長）が就任、

義家 弘介氏（参議院議員）が記念講演～



村上・新会長のご挨拶

去る10月29日、日本会議大阪女性の会10周年記念教育講演会が開催され、ドーンセンターは、500名の参加者で熱気溢れる会となった。

第1部の10周年の記念式典では、新たにご就任頂いた村上・女性の会会長にご挨拶を頂き、最初のお披露目の場となった。

これまでの女性の会の活動を紹介され、会長職を引き受けられた経緯を話され、「10年経った今、一層、子供達を巡る環境は厳しいが、国おこし家おこしの運動に邁進していきましょう」と閉められた。

続いて衛藤・日本会議大阪運営委員長、小野田・本女性の会会長から激励のご挨拶を頂いた。引き続き、会員の方から意見発表の時間に移った。

大澤・摂津市議会議員より母親として議員として、「母親達が、このような場集い、意識を変えていくことが、教育を立て直していくことになる」と考えて活動されていること、大阪府婦人神職の会会長で菅野・泉州支部事務局長は神社を開放し、地域の子供達を集め、日本の歴史・文化を伝えていく「宮子塾」についての報告、「尖閣署名」活動にご尽力頂いた池田市在住の藤本さんより、ご家族、友人知人を通して1300名集めたことなどを紹介して頂き、感動的であった。

閉会のご挨拶では濱野・運営委員長より参加された方々への感謝の思いを伝えて頂いた。

第2部の記念講演では、義家弘介先生（参議院議員）が「熱血ヤンキー先生、教育を語る」と題してご講演された。

先生は「喪失されたものは、父権であり、取り戻さなければならぬ。以前は、父権が社会ぐるみで守られていて、その中で教育が存在していた。0歳のとき、ご両親が離婚され、母親の記憶が全くない。母親に対する憧れが常にあり、その反動で、父権的なものに徹底して反発してきた。8年前、子供が産まれる時、父親になる自信がなかった。しかし、父親にならなければならぬ、ならば、新しく生まれてくる命の誕生する最初の瞬間をしっかりとこの目に焼き付けておこうと、立会い出産を決意した。」と最初から刺激的であったが、体験に基づいた内容であった。更に八重山地区の教科書問題についても触れて頂き、タイムリーで好評であった。



義家先生のご講演

第3部は、「邦楽ユニット 玉梓」による尺八とお箏の演奏でその奏でる音に、心清められ、「童歌メドレー」では、皆、ロずさみ、最後の「ふるさと」は、大合唱で終わる事が出来た。

50名を越える実行委員メンバーのご協力を頂きながら、総じて10周年を飾るに相応しい行事であった。

## ■ピースおおさかの展示写真4点が撤去、今後、どうなるか

ピースおおさかの問題の展示写真が4点、撤去されたというニュースがあった。その写真はB展示の「朝鮮コーナー」で、「昭和14年以降の朝鮮人の強制連行、強制労働」と題して、実際は朝鮮半島で建設された水豊ダム建設の様子、大正15年に撮影された土木労働者や、昭和7年に撮影された鉄道工事場での朝鮮人であったりして、出展元を調査すれば明らかに整合性の合わない写真であった。

10年以上前から自民党の府議会議員が中心となって、是正を訴えて、少しずつ変えられてきたものの、今回は維新の会の府議団が中心となって、公費見直しから展示物を見直すところから、俄かに展示内容が話題となっている。

展示写真は本当に恐ろしい側面がある。それが歪曲された歴史観と結びついた場合はなおさらである。写真の出展がわからないままで、日本が朝鮮人を強制的に連行し、労働させるという、ある一定の物語の解説文によって確実に歴史は捏造されるが、一方で出展がわかり、年代がはっきりとわかれば解説文は虚偽であることがすぐにバレてしまうのである。

またマスコミが記事として取り上げることが、大きな影響力を持つことになることも実感した。

記事によればピースおおさかは、平成25年4月から展示内容のリニューアルを目指しているというが、存在そのものが必要であるか否か大いに府議会、大阪市議会で議論されて然るべきだ。

## ■枚岡神社では国旗を4月より約150旗授与



国旗が立ち並ぶ通り

中河内支部では中東支部長（枚岡神社宮司）が講演がある度に「平和な日本に住まわせて頂いていることに感謝し、祝日に国旗を掲げましょう」と活動を続けている。

その中で、枚岡神社の東大阪市松原地区の氏子総代の松原功典氏が地元の自治会に声を掛け、11月3日の祝日に松原地区に40軒の家々に国旗が掲げられた。同氏はこれからの祝日にも声をかけて更に数を増やすと意気込んでいる。

## 《本会・支部主催行事のご案内》

### ■日本会議大阪 北摂支部講演会

- ・とき 12月3日(土) 開場 午後1時30分 講演 2時～4時
- ・ところ 高槻現代劇場文化ホール 3階 レセプションルーム  
高槻市野見町2-33 (阪急電車「高槻市駅」下車 徒歩5分)  
TEL 072-671-1061



#### ・講演

演題 「これでいいのか！日本の安全保障～領土領海を守るために」

講師 田母神 俊雄氏(元航空幕僚長)

[略歴] 昭和23年福島県生まれ。防衛大卒業後、航空自衛隊に入隊。平成19年、航空幕僚長に就任。平成20年10月、民間の懸賞論文へ応募した作品が政府見解と対立するものであったことが問題視され、幕僚長を更迭、定年退官となる。11月参議院防衛委員会に参考人招致されたが、論文内容を否定するつもりはないことを改めて強調した。

・参加費 入場無料

・主催 日本会議大阪 北摂支部

問い合わせ先 日本会議大阪北摂支部 (吹田市佐井寺1-18-26 伊射奈岐神社内)  
TEL 06-6380-1370 FAX 06-6380-1502

### ■天皇陛下のお誕生日をお祝いする府民の集い

- ・とき 12月23日(祝・金) 午後2時～4時半(開場 1時半)
- ・ところ 大阪府神社庁会館5階 大阪市中央区久太郎町4丁目渡辺6号
- ・式典 2時～2時半
- ・講演 2時40分～4時

演題 「国難に立ち向かい、強い日本へ

～皇室と尖閣・沖縄を守り、憲法改正実現の道へ～」

講師 西澤 和明氏(日本会議常任理事)

[略歴] 昭和27年、東京都生まれ。昭和46年、早稲田大学入学、学生時代より、日本青年協会の運動に参画。昭和50年代の元号法制化運動時のキャラバン、昭和天皇御在60年奉祝運動の事務局、国会議員秘書や日本会議の出版部門である明成社創設などに関わり、現在、日本会議常任理事。先の御即位20年奉祝運動では、事務局次長として、皇居前祭典の企画を推進。昨年、中国漁船による尖閣諸島海域の領海侵犯事件以来、この問題に取り組み、たびたび沖縄や石垣島を訪れ、運動を推進している。

・参加費 1,000円(正会員以上は、無料です。この機会に日本会議へご入会下さい。)

※当日は、恒例の皇室カレンダー・昭和天皇御製カレンダー(ともに1,000円)を頒布致しますので、是非、ご購入下さい。

・主催 日本会議大阪 TEL 06-6245-5741

【お詫び】10月号1頁、靖國神社・明治神宮参拝の記事の中で明治神宮の宮崎宮司は宮崎権宮司です。訂正してお詫び申し上げます。